



『坂の上の雲』のまち松山  
フィールドミュージアム 久谷・砥部 サブセンターゾーン

里山の風景と遍路文化が独自の香りを作り出す

# 久谷・砥部 サブセンターゾーン

松山郊外の里山ゾーン。昔ながらの遍路道に沿って四国霊場の札所をはじめ、遍路墓や石の道標、ハツ塚群集古墳など遍路遺跡が点在します。  
地元住民の手により、旧遍路宿坂本屋のほか、大正時代の大黒座も芝居小屋としてよみがえり、遍路の里として注目されています。

(注) 開館日時は、イベント開催や祝日等により変更される場合がありますので、各施設までお問い合わせください。  
なお、料金につきましては同様にお問い合わせください。



だいこざ  
**大黒座** 地図 P31B3

## 遍路道に堂々と立つ娯楽の殿堂

大黒座は大正期に建てられた酒蔵で、戦後芝居小屋に改装され、大衆演劇や映画の上映などが行われる地元住民の憩いの場だった。昭和38年に惜しまれつつ閉館となったが、平成18年久谷の町おこしの拠点にと修復される。今では歌や芝居、落語の上演など、地域の活性化に貢献している。

DATA ④松山市久谷町54 ⑤089-963-4862(大黒座運営委員会)  
⑥松山ICから車で20分 ⑦なし



さかもとや  
**坂本屋** 地図 P31C4

## 甦ったお遍路さんのお休み処で遍路文化を想う

国道33号が開通するまで、久万と松山を結んでいた旧土佐街道は、遍路の道でもあった。廃業し朽ち果てていた遍路宿坂本屋は平成16年に地元住民の手により改修され、地元住民とお遍路さんの交流の場として甦った。週末には歩き遍路さんたちがボランティアのお接待を受け、かつての賑わいを取り戻している。

DATA ④松山市窪野町2187 ⑤松山ICから車で30分 ⑥あり



あみかけいし  
**網掛け石** 地図 P31C4

## 弘法大師ゆかりの巨石

昔、三坂峠の遍路道の邪魔になっていた2個の巨石の1つとされる。弘法大師が、カズラで作った網で運ぼうとしたが、天秤棒が折れて1つは川に1つは榎の遍路道に転げ落ちた。榎に落ちた石は、網掛け石と崇められ、大師像とともにまつられている。

DATA ④松山市久谷町 ⑤松山ICから車で25分

## 子規の句碑(杖ノ淵公園)

DATA ④松山市久谷町54 ⑤089-963-4862(大黒座運営委員会)  
⑥松山ICから車で20分 ⑦なし

弘法大師が杖を突き立てた所から水が湧き出したという故事来歴から杖ノ淵と呼ばれており、全国名水百選(環境省)の一つに認定されている。清らかな水を好む植物「ていれぎ」は和名オオバタネツケバナといい、この地で保護育成されている。子規はていれぎの下葉の色で秋風が吹く頃の様子をよんだ。「ていれぎの下葉浅黄に秋の風」

DATA ④松山市南高井町1346-1外 ⑤089-948-6519(松山市市街地整備課)  
⑥松山ICから車で15分 ⑦入園自由 ⑧あり 8~19時(10~3月は~18時)



## 山口霊神

古狸ゆかりの地

講談『松山騒動伊予八百八狸』は享保17年(1732)の大飢饉で、久万山の農民が松山藩に起こした反乱を題材にしたもの。これに書かれた隠神刑部(いぬがみぎようぶ)をまつた祠(ほこら)。

DATA ④松山市久谷町 ⑤松山ICから車で25分



## 一遍上人の窪寺遺跡

鎌倉時代に伊予の豪族・河野氏の一族として松山に生まれた一遍上人は踊り念仏で知られる時宗の開祖。窪寺で念仏三昧の修行を行った。

DATA ④松山市窪野町 ⑤松山ICから車で30分



④松山市窪野町 ⑤松山ICから車で30分



## 愛媛人物博物館(愛媛県生涯学習センター)

さまざまな分野で活躍した郷土の先達を知る

愛媛県出身、または愛媛にゆかりの深い偉人の遺品を展示し、その業績を紹介している。展示は「学問」「産業」「芸術」といった9つの分野に分かれており、子規や漱石は「文芸」、秋山兄弟は「社会」に分類されている。好古の大礼服や兄弟ゆかりの手紙や書など、貴重な資料を見ることが出来る。

DATA ④松山市上野町甲650愛媛県生涯学習センター内 ⑤089-963-2111 ⑥松山ICから車で約10分 ⑦9時~17時30分(入館は17時まで) ⑧月曜(祝日の場合は翌日) ⑨あり



あきやまよしのしほ  
**秋山好古の書碑(正八幡神社)**  
正八幡神社にある。好古が日露戦争の凱旋記念に書いたもの。作善降之百祥とは、善行をすれば報われる、幸福が訪れるの意。  
④松山市窪野町1743 ⑤089-963-2280  
⑥松山ICから車で30分 ⑦あり



④松山市窪野町 ⑤松山ICから車で30分

わたなげしゅうたく  
**渡部家住宅**  
江戸末期に建てられた庄屋敷で国指定重要文化財。本瓦葺の堂々たる長屋門、贅を極めた建築材に欄間などの意匠、隠し階段やどんでん返しなど農民の住まいとは思えない工夫がなされた屋敷だ。  
④松山市東方町12338 ⑤089-943-8108  
⑥重要文化財財源部家保護財団 ⑦松山ICから車で15分 ⑧あり



④松山市東方町 ⑤089-943-8108

じょうりじ  
**浄瑠璃寺**  
四国霊場第46番札所。和銅元年(708)行基が開いたとされる。境内には樹齢千年を超える市指定天然記念物のイブキヤクシや、健康・交通安全にご利益のある仏足石、知恵や技能にご利益のある仏手石などがある。寺の石段入り口に子規の句碑「永き日や衛門三郎浄瑠璃寺」が立つ。  
④松山市浄瑠璃町282 ⑤089-963-0279  
⑥松山ICから車で20分 ⑦あり



④松山市浄瑠璃町 ⑤089-963-0279

やまかし  
**八坂寺**  
四国霊場第47番札所。役行者の開基とされる。文武天皇の勅願で伽藍が建立される時、八つの坂を切り開いたことからこの名がつけられたという。本堂は鉄筋コンクリート造りの美しい建。山門のカラフルな天井絵も必見。  
④松山市浄瑠璃町73 ⑤089-963-0271  
⑥松山ICから車で20分 ⑦あり



④松山市浄瑠璃町 ⑤089-963-0271

やづかぐんしゅうかん  
**ハツ塚群集古墳**  
松山平野に数多い古墳群の一つで、古墳時代末期のものとみられる。八基からなることから「ハツ塚」と呼ばれる。また、四国遍路を始めたといわれる住原の庄屋・衛門三郎の8人いた子どもを葬った塚という伝説も持つ。  
④松山市原町 ⑤松山ICから車で20分



④松山市原町 ⑤松山ICから車で20分

しあぐひたんぼ  
**子規の句碑(杖ノ淵公園)**  
「旅人のうた登り行く若葉かな」  
明治14年子規が友人らと岩屋寺を訪ねた帰り道三坂峠で疲れて難儀した経験をもとに作った三飯即時の漢詩と、明治25年に詠んだ三飯一と題した句が刻まれた碑。漢詩は景浦稚桃、俳句は柳原極堂の書。  
④松山市窪野町旧窪野公民館跡 ⑤松山ICから車で25分



④松山市窪野町 ⑤松山ICから車で25分